

何十年

奥様を介護された

その心

今の

広島の歌会に見る

連続出席二百回

輝く記録を残し

見事に散った

いくたさーん

広島は桜が満開ですよ

草壁焰太

紫陽花

解っていたけど

届いた年賀状に改めて涙・・・

なんと美しい色

あの群青の彼方に

逝かれたんですね

すみきった

青い冬の空

あなたはどこかで

言ってますか

「楽しければ続く」と

杏の花見

懸川千恵子

十七年の

豊かな刻ときは

瀬戸の海のように

じんわりと

満ちてくる

かやみちこ

小柄でも

威厳いげんがあり

みんなを

笑顔に

できる人

かななどみえ

望年会での笑顔から

たった十二日後の訃報

幾田さん 儂いですね

白骨の御文章が

身に沁みています

倉本美穂子

五行歌に

鋏を置いたまま

ふと かくれんぼ

流れる雲に大きな声で

幾田さーん

小泉秀子

「いい歌ですよ

ワン・ステップですね」

はげましの言葉を

心の杖に

いくたさんありがとう

黒縁の眼鏡

口髭

優しい笑顔

ひろしま歌会を

ありがとう

こころ

すまいる EIKO

また一月に

会えると疑いもせず

望年会後

「よい新年を」と別れたのに

永遠の別れになろうとは

涙が止まらない

優しく温かかった幾田さんの

訃報を

涙の奥には

感謝の五行歌

住吉邦子

空田和子

七月入会

十二月 永久の別れ

視野の広さや的確さに

いつも感銘を受けました

ご縁を有難うございました

お歌に垣間見た

豊かな生き方 人となり

引かれるように

出会いは必然

ただただ感謝

ソレイユ

鈴野鳴道

突然大きな

穴が開いた歌会

何よりの供養は

みんなの力と

笑顔で埋めよう

人生を生き抜き

控えめで穏やかな

あの笑顔が

いつもの席に

私の目に映った

清月

道原紀代子

いろいろ

あったけど

あの日の出会いに

救われたこの十年

初心 忘れまい

皆さんの真ん中で素敵な笑顔

本当に天空歌会からお歌が届きそう

いくたさん

お待ちしてますね

そちらの様子を歌にして・・・

ともこ

浜 幸江

歌だけでなく

浄土への振舞いも

背中で

示してくれた

師匠だった

信頼度 尊敬度は

お付き合いの長さでなく

人柄に惹かれた時

想い出すたび

送り泣きとなる

原田 甘

福原祥子

大きな掌の上で

気ままに踊っていたら

突然灯りが消えて

奈落の底

自力で這いあがれるか

幾田さん

もうすぐそちらに

行くからね

メイドカフェで

コーヒー飲もうよ

ぶん

真砂美

おや

花咲か爺さんは

あなたでしたか

桜の木の上から

いつもの笑顔で

森 鈴

友に誘われ

師に出会う

「心のままに

書き留めよ」

と、宝のことは

やえこ

呼ばれた気がして

空をみあげる

あゝ

蒼天にむかって

瞑目するばかり

「どうにもならんことは

考えんほうがええよ」

「今を大事に生きんにや」

そしてあつきり

「グッドバイ」でしたね

山田美登里

ゆうゆう